

令和6年度行政評価 施策評価票

主管部局・課

教育委員会 文化課

政策目標7 未来につなぐひとづくり/政策2 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野7 歴史・文化

目指す姿

文化芸術に親しむ機会にあふれ、本市の豊かな歴史資源の継承のもと、文化や歴史の魅力が世界に発信されているまち

施策

施策番号	名称 施策の内容	関連するSDGs17のゴール
施策1	地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興 地域の特色を活かした芸術文化事業や文化祭などの開催を支援します。また、質の高い文化芸術に触れる機会を充実し、地域の文化力の向上と市民が主体となった芸術文化活動の促進を図ります。	
施策2	地域の歴史・文化を育む環境づくり 誰もが気軽に地域の歴史や文化に触れ、学ぶことができる機会を創出します。また、歴史と文化が薫るまちを目指し、市民が活動しやすい環境づくりを行います。	
施策3	歴史資源・伝統文化の保存・継承 文化財をはじめとする本市の貴重な歴史資源や伝統文化を後世に継承する取組を進めながら、情報発信や公開などにより、郷土の歴史や文化の理解促進を図ります。	

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況

指標名					単位	説明又は計算式
1	市民文化祭参加行事				行事	参加行事数
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標	検証
	目標	73	74	74	75	参加行事数は回復傾向にあるものの目標値を下回っている。参加団体が固定化・高齢化しており、現状のままの取組では参加行事数の増加は難しいと考えられる。
	実績	47	49	-		
2	歴史文化講座参加者				名	
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標	検証
	目標	330	340	350	360	開催情報の発信強化や、これまでになかったテーマや手法により、参加者数の回復が図られ、新たな層の参加を得ることができた。
	実績	124	250 (見込)	-		

2 施策の評価

施策1	地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興
今年度の重点方針(方向性)	地域の特色を活かした芸術文化事業や文化祭などの開催を支援します。また、質の高い文化芸術に触れる機会を充実し、地域の文化力の向上と市民が主体となった芸術文化活動の促進を図ります。
取組状況	・これまで市民文化祭の中心を担ってきた文化団体の固定化・高齢化に伴い、市民文化祭の来場者数や参加行事数が減少傾向にあることを受け、市民文化祭では、今年度より運営組織を見直し、実行委員を公募するなど、地域とともに企画・運営する体制づくりを行った。 ・あいづまちなかアートプロジェクトでは、今年度より、両部会が合同で事業の企画・運営を行うことにより、事業効率を高めながら、両部会の共通課題である①ひとつづくり、②ひとつを育む環境づくり、③効果的な広報に取り組んでいく。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】地域の主体的な参加 ・市民文化祭及びあいづまちなかアートプロジェクトなどの文化振興事業は、市民一人ひとりの潤いのある生活や、豊かなまちづくりを目指した活動であることから、市民がより主体的に参加できる取組となるよう、事業の方向性や実施体制、事業内容などの見直しを図っていく。
施策2	地域の歴史・文化を育む環境づくり
今年度の重点方針(方向性)	誰もが気軽に地域の歴史や文化に触れ、学ぶことのできる機会を創出します。また、歴史と文化が薫るまちを目指し、市民が活動しやすい環境づくりを行います。
取組状況	・文化活動の拠点となる文化施設の管理運営に指定管理者制度を導入し、効率的な運営管理と市民サービスの向上を図るとともに、老朽化した施設・設備を計画的に改修してきた。 ・歴史資料センターにおいて、運営管理の一部を民間委託し、効率的な運営管理を図るとともに、様々な展示・講座を行い、市民が地域の歴史を学ぶ機会を創出してきた。 ・市収蔵美術作品の収蔵施設については、美術品に適した温度や湿度管理が必須であることから、専門業者等により適切な管理を行ってきた。 ・収蔵美術作品を適切に保護し、後世に継承するため、今後の収集や保存等を行う際の基準や方針等について検討する。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】文化施設等の適切な管理、整備及び活用 ・文化施設及び歴史資料センターは施設の老朽化が激しいことから、利用者の安全性を第一に考慮し、施設・設備の改修計画を行う必要がある。 ・小学校と連携した郷土の歴史を学ぶことができる「まなべこツアー」の開催や、歴史資料センター「まなべこ」での資料展示や各種講座の継続により、子どもから大人まで広く郷土理解の促進を図る。 【2】収蔵美術作品の管理と活用 ・収蔵美術作品の適切な管理と一層の活用に向けて検討を進めていく。 ・収蔵美術作品の保護及び継承の考え方に基つき、収蔵作品のデジタル化及びその活用について推進していく。

施策3	歴史資源・伝統文化の保存・継承
今年度の重点方針(方向性)	文化財をはじめとする本市の貴重な歴史資源や伝統文化を後世に継承する取組を進めながら、情報発信や公開などにより、郷土の歴史や文化の理解促進を図ります。
取組状況	・国指定の史跡・名勝・天然記念物である御薬園・院内御廟・赤井谷地沼野植物群落について、文化庁や専門家により構成される指導会議での指導を受けながら保護や整備を行った。さらに赤井谷地等で市民にその価値を理解してもらうため見学会を開催した。 ・御薬園については、植栽整備等の整備計画や重陽閣を位置付けた、新たな保存活用計画の策定を令和5年度から令和7年度にかけて行っている。 ・日新館天文台跡の整備活用を図るため、駐車場等の環境整備を行った。 ・開発行為等に伴い事前に発掘調査を実施し、遺跡の内容を記録として保存するなどの埋蔵文化財の保護を図った。 ・会津若松市文化財保存活用計画に基づき、意見交換会の開催や歴史資源の把握を行った。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】文化財の保存・整備・活用 ・文化財保存・継承に向け、所有者や地域との連携や広く文化財に対する意識醸成に向けた取組を継続する。 ・指定文化財等の環境整備については、地区等への委託による支障木伐採や除草清掃を継続して行うとともに、国指定文化財等については、所有者のみで文化財の維持管理を行うことが難しい面もあることから、補助制度等を活用し、所有者の負担軽減を図っていく。 ・御薬園・院内御廟・赤井谷地沼野植物群落については、指導会議での指導をうけながら保存整備を進めていく。 ・院内御廟について、令和7年度より新たな保存活用計画の策定を行い、史跡の長期的な保存・活用を図っていく。 【2】埋蔵文化財の調査・保護の充実 ・開発に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼件数が増加していることから、一部民間委託の導入などにより円滑に調査を進める。 ・「文化財だより」や「出前講座」により、文化財に対する保護意識の高揚を図っていく。 【3】歴史文化の継承のための機会の創出 ・院内御廟や赤井谷地、日新館天文台跡等について、現地での見学会や歴史文化講座を行うなど、市民の文化財に対する理解促進に向けた、積極的な文化財の活用を図る。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、未指定文化財などの地域の歴史資源の情報収集や、地域ぐるみでの歴史文化の保存・活用に向けた取組を進める。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名
2 - 2	郷土理解学習推進事業	教育委員会 学校教育課
5 - 1	生涯学習推進事業	教育委員会 生涯学習総合センター

4 施策の最終評価

・政策分野7「歴史・文化」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。

・施策1「地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興」については、市民文化祭やあいづまちなかアートプロジェクトが、市民にとってより主体的に参加できる取組となるよう、事業の方向性や実施体制、事業内容などの見直しを図り、地域の文化力の向上と市民が主体となった芸術文化活動の促進を進めていく。

・施策2「地域の歴史・文化を育む環境づくり」については、文化施設の改修を計画的に行うとともに、歴史資料センターにおいては、小学校と連携した「まなべこツアー」の開催や資料展示、各種講座の継続や、収蔵美術作品を適切に保護し、後世に継承するため、今後の収集や保存等を行う際の基準や方針等について検討し、誰もが気軽に地域の歴史文化に触れ、学ぶことができる機会を引き続き創出していく。

・施策3「歴史資源・伝統文化の保存・継承」については、文化財の保存・継承に向け、引き続き埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに、所有者や地域との連携や広く文化財に対する意識醸成に向けた取組を継続していく。また、院内御廟や御薬園については、新たな保存活用計画の策定を行うなど、史跡の長期的な保存・活用を図り、本市の貴重な歴史資源や伝統文化を後世に継承していく。

5 事務事業一覧

番号	ロジック モデル	重点事 業	人口減 少対策 ※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年 度方 針	担当部・課
施策1 地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興							
1				4.7	文化振興事業	継続	文化課
2		◎		4.7	あいづまちなかアートプロジェクト事業	継続	文化課
3				4.7	郷土研究奨励事業	継続	文化課
4		◎		4.7	早乙女貢文化振興基金記念事業	継続	文化課
施策2 地域の歴史・文化を育む環境づくり							
1		◎		4.7	會津風雅堂管理事業	継続	文化課
2		◎		4.7	文化センター管理事業	継続	文化課
3		◎		4.7	歴史資料センター管理運営事業	継続	文化課
4				4.7	会津能楽堂管理事業	継続	文化課
5				4.7	収蔵美術作品管理活用事業	継続	文化課
施策3 歴史資源・伝統文化の保存・継承							
1	◎			4.7	御山地区農地整備試掘調査事業	新規	文化課
2	◎			4.7	若松第三保育園発掘調査事業	終了	文化課
3	◎			4.7	県立病院跡地発掘調査事業	継続	文化課
4				4.7	御薬園整備事業	継続	文化課
5				4.7	院内御廟保存整備事業	継続	文化課
6				4.7	赤井谷地保存整備事業	継続	文化課
7				4.7	御薬園管理運営事業	継続	文化課
8				4.7	文化財保存活用地域計画推進事業	継続	文化課
9				4.7	文化財整備事業	継続	文化課
10		◎		4.7	日新館天文台跡整備事業	継続	文化課
11				4.7	文化財調査事業	継続	文化課
12				4.7	指定文化財保存整備補助事業	継続	文化課
13				4.7	神指城跡保存検討会事業	継続	文化課
14				4.7	埋蔵文化財管理事業	継続	文化課
15				4.7	庁舎整備発掘調査事業	終了	文化課
16				4.7	城前団地発掘調査事業	継続	文化課
17				4.7	都市計画道路藤室鍛冶屋敷線発掘調査事業	継続	文化課
18				4.7	都市計画道路藤室鍛冶屋敷線（県道）発掘調査事業	継続	文化課
19				4.7	平沢地区農地整備試掘調査事業	終了	文化課

※人口減少対策に資する事業を「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

- 基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり
- 基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出
- 基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり
- 基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興					
1	事業名	文化振興事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民文化祭の開催や地域文化団体への支援を通じ、市民が文化芸術に触れ鑑賞できる機会や、主体的な文化芸術活動が活発に行われる環境づくりなどの文化の振興により、文化を介した豊かな地域づくりを目指す。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	2,658	2,442
			所要一般財源	2,658	2,442
			概算人件費	1,516	1,516
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	これまで市民文化祭の中心を担ってきた文化団体の固定化・高齢化に伴い、市民文化祭の来場者数や参加行事数が減少傾向にあることを受け、今年度は、市民文化祭の運営組織を見直し、実行委員を公募するなど、地域とともに企画・運営する体制づくりを行った。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・ 今後は、より広い世代が参加できる事業内容や体制づくりにむけ、地域とともに引き続き見直しを図っていく。 ・ また、市民の文化芸術活動は様々な形態で展開されてきていることから、文化団体連絡協議会へのこれまでの補助金支援だけでなく、多様な文化活動に対する支援方法を検討していく。			
2	事業名	あいづまちなかアートプロジェクト事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	会津の文化資源である漆をテーマとした「会津・漆の芸術祭」と市収蔵美術作品等を活用した「まちなかピナコテカ」による展覧会やワークショップの開催などの文化の振興により、アートを介した豊かな地域づくりを目指す。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	7,500	7,500
			所要一般財源	2,000	2,000
			概算人件費	6,063	6,063
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	今年度から、両部会が合同で事業の企画・運営を行うことにより、事業効率を高めながら、両部会の共通課題である①ひとつづくり、②ひとを育む環境づくり、③効果的な広報に取り組んでいく。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	今後も、地域や学校、専門家との協働により、市民がより主体的に参加できる体制づくりに取り組む。			
3	事業名	郷土研究奨励事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	個人の寄附金の活用による基金事業として、会津地方に関する史学・民俗学・考古学・美術史学・地理学・農学・生物学・地学などを調査・研究した作品を募集し、優秀な作品を奨励・公開することにより、市民の郷土愛の醸成を図る。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	484	484
			所要一般財源	84	84
			概算人件費	152	152
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成元年度から会津地方に関する調査・研究作品を募集し、郷土研究奨励金審査委員会の審査を経て、奨励賞及び副賞を授与している。 小学生から高齢者までの応募があり、郷土の歴史文化研究に取り組む機会となっている。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	一般成人部門は、応募数や研究様式になっている作品が少ないため、応募方法や審査基準のあり方について検討していく。青少年部門は学年により熟度や理解に開きがあるため、審査委員による調査・研究方法等への指導の在り方を検討するとともに、より多くの応募を得るため、小・中・高校への周知の強化と歴史資料センターまなべこ等を活用した周知を図っていく。			

4	事業名	早乙女貢文化振興基金記念事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	土魂の会からの寄附を原資とし、早乙女貢文化振興基金を設立したことから、基金の周知に加え、基金を活用し、市民が文学や歴史に触れ、学ぶ環境づくりに取組む。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	1,651	10,395
			所要一般財源	0	0
			概算人件費	910	910
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和5年度は、土魂の会と協議合意の上、早乙女貢文化振興基金の設立を行い、令和6年度は、早乙女貢氏の功績と基金の周知を図るための記念講演会を開催した。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	早乙女貢文化振興基金記念事業を通じ、文化や歴史に対する市民の意識醸成を図っていく必要がある。基金を活用し、市民が文学や歴史に触れ、学ぶ環境づくりに取組んでいく。			

施策2 地域の歴史・文化をはぐくむ環境づくり

1	事業名	會津風雅堂管理事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	平成18年度から指定管理者制度を導入し、多様な芸術文化活動の拠点となる施設として、効率的な管理運営を図りながら、市民サービスの向上に努める。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	167,857	182,554
			所要一般財源	167,857	167,154
			概算人件費	474	474
2	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・指定管理者による効率的な管理運営と保守点検管理を徹底し、利用者の安全性を確保した施設の提供を行っている。また、平成6年の開館後30年以上を経過していることから、設備の更新や維持補修等を計画的に実施している。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・指定管理者による効果的で効率的な施設管理運営に努めるとともに、施設設置者として、施設の長寿命化と利用者の安全性・利便性の向上を図っていく。 ・また、施設の管理運営にとどまらず、指定管理者ならではの自由な発想で、地域の主体的な文化活動への支援や地域人材の育成等、地域とともに文化振興を進めていくことができるよう、指定管理者と連携していく。			
	事業名	文化センター管理事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
3	概要 (目的と内容)	平成18年度から指定管理制度を導入し、多様な芸術文化活動の拠点となる施設として、効率的な管理運営を図りながら、市民サービスの向上に努める。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	46,170	69,746
			所要一般財源	46,170	39,046
			概算人件費	379	379
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・指定管理者による効率的な管理運営と保守点検管理及び計画的設備改修等を行い、利用者の利便性の向上及び安全性を確保した施設の提供をしている。また、昭和53年の開館後40年以上を経過していることから、設備の更新や維持補修等を計画的に実施している。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・指定管理者による効果的で効率的な施設管理運営に努めるとともに、施設設置者として、施設の長寿命化と利用者の安全性・利便性の向上を図っていく。 ・また、施設の管理運営にとどまらず、指定管理者ならではの自由な発想で、地域の主体的な文化活動への支援や地域人材の育成等、地域とともに文化振興を進めていくことができるよう、指定管理者と連携していく。			
3	事業名	歴史資料センター管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	歴史資料センターを管理運営することで、郷土の歴史に関する学習・調査・研究活動や、市の歴史資料等を保存・管理する施設として、利用者に先人や歴史について学びの場を提供する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	21,386	26,786
			所要一般財源	21,386	26,786
			概算人件費	910	910
3	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成23年度から歴史資料等の保存・管理や郷土の歴史に関する調査・研究活動の拠点として事業を開始し、広く来館者を迎える施設として平成27年9月にグランドオープンした。 歴史の苦手な人や子どもでも分かりやすい展示を心がけており、展示のほかにも歴史文化講座を開催することで、市民が郷土の歴史に触れる機会を創出し、近年では県外からの学習旅行による来館者数も増加している。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	建物は建築から50年以上が経過しており、設備等に不具合が生じている部分が複数あるため、優先順位を検討しながら補修等を継続して行っていく必要がある。 効果的な施設の管理運営を実現していくため、資料調査およびレファレンス対応の方法や、展示手法、資料整理方法等の見直しを行い、人材確保も含めた運営の手法について検討を行う。歴史文化講座や展示内容の充実を図るとともに、周知方法の見直しを行い、認知度と来館者の満足度の向上に努めていく。			

4	事業名	会津能楽堂管理事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	平成26年度から指定管理者制度を導入し、能をはじめとする伝統文化や民俗芸能など幅広い分野の研修や練習の場として、効率的な管理運営を図りながら、市民サービスの向上に努める。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	788	788
			所要一般財源	788	788
概算人件費			76	76	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	伝統文化を継承する施設として、指定管理者制度の導入により、効率的な管理運営を図りながら、伝統文化の後継者育成に向けた運営に努めている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・施設の性質上、施設利用者は能楽愛好団体に限られているため、稼働率は伸びない。 ・指定管理者による効率的な管理運営に努めるほか、伝統文化の研修施設として利用者の拡大と利用促進に努めていく。				
5	事業名	収蔵美術作品管理活用事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市が収蔵する美術作品を適切に保管・管理するとともに、市民の財産である作品を有効に活用していく。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	4,260	4,260
			所要一般財源	4,260	4,260
			概算人件費	2,274	2,274
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・作品の種別や状態などにより劣化等が進みやすいものについては、専門業者に美術品に適した環境下での管理を委託している。 ・作品の管理や保存、活用推進の観点からデジタル化を進めた（これまでデジタル化した作品：59作品、動画化した作品：12作品） ・収蔵美術作品を適切に保護し、後世に継承するため、今後の収集や保存等を行う際の基準や方針等について検討する。			
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・収蔵美術作品の適切な管理と一層の活用に向けて検討を進めていく。 ・収蔵美術作品の保護及び継承の考え方に基づき、収蔵作品のデジタル化及びその活用について推進していく。				

施策3 歴史資源・伝統文化の保存・継承					
1	事業名	御山地区農地整備試掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	新規
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	0	54,313
			所要一般財源	0	27,517
			概算人件費	0	3,342
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	—				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	—				
2	事業名	若松第三保育園発掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	終了
	概要 (目的と内容)	国埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	35,393	0
			所要一般財源	0	0
			概算人件費	2,653	0
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	埋蔵文化財の適切な保存のため、事業者である会津若松保育協会と新設する保育園の設計や事前の発掘調査の実施について協議を行った。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	令和6年度事業終了予定				
3	事業名	県立病院跡地発掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	74,231	0
			所要一般財源	0	0
			概算人件費	1,819	0
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和6年度は、敷地北側の道路拡幅部分（約1,200㎡）について、事前の発掘調査を実施し、記録として保存した。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	設計段階から関係機関と遺跡の保存協議を行い、工事によりやむを得ず遺跡が消滅する箇所については、関係機関と協議をしながら、発掘調査を実施し、適切な記録保存に努める。				

4	事業名	御薬園整備事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	国指定名勝会津松平氏庭園の保護・保存を図るため、専門的知見を活用した整備を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	4,560	3,074
			所要一般財源	2,240	1,537
概算人件費			280	280	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	御薬園の保護・保存を図るため、名勝会津松平氏庭園整備基本計画報告書に基づき、池の護岸修復や御茶屋御殿の修復、支障木伐採等の整備修復を実施してきた。令和5年度からは、保存管理状況や継承についての課題を整理し、中・長期的な観点からの取組を進めるための、保存活用計画の作成を行っている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	平成9年策定の整備基本計画に基づき、江戸時代の大名庭園の保護・保存を図るため、池護岸や御茶屋御殿の修復などを実施したが、名勝としての一体的な景観形成に必要な庭園の植栽整備計画や、昭和初期の建築である重陽閣の位置づけなどが不十分である。そのため、令和5年度～令和7年度で作成する保存活用計画に、植栽や園路、薬用植物園などの整備計画や重陽閣の位置づけなどを行い、名勝としての保存・活用を図る。				
5	事業名	院内御廟保存整備事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	史跡会津藩主松平家墓所（院内御廟）の保護・保存を図るため、専門的知見を活用し、整備や公開を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	1,851	5,918
			所要一般財源		
概算人件費			150	200	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	院内御廟の保護・保存を図るため、平成14年度策定の保存・管理・活用基本計画に基づき、危険箇所の修復整備や支障木の伐採、案内板整備などを行い、平成27年度からは、今後の保存・活用に向け、石造物の調査・管理台帳作成、長期保存に向けた環境調査を実施した。また、平成21年度から歴史散策会を開催し、近隣観光施設と連携して市内外の方に院内御廟の歴史、価値、保存の重要性などの周知を図っている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	今後も史跡保護のための日常管理を行うとともに、歴史散策会やまなべこツアーなどを通して、史跡の歴史や価値、保存の重要性などの周知を図っていく。また、これまでに作成した石造物の管理台帳や環境調査のデータを活用しながら、石造物の劣化や獣害、支障木など史跡が抱える課題を抽出し、同様の史跡を管理する猪苗代町と連携して、令和7年度・令和8年度で新たに保存活用計画を策定し、史跡としての院内御廟の保存・活用を図る。				
6	事業名	赤井谷地保存整備事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	国指定天然記念物赤井谷地沼野植物群落の保護・保存を図るため、専門的知見を活用した整備を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	2,403	2,422
			所要一般財源	2,403	2,422
概算人件費			903	978	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	農業基盤整備事業と連携し、農業用水の指定地外への付替えや非農業用地の設定・公有化を実施し、毎年、水環境調査、植生調査を行い、湿原の保全・回復を図っている。令和5年度には、谷地の保全のため、旧新四郎堀の遮水と水位調整用のゲートを設置した。 また、観察会を年1回実施し、市民に対する赤井谷地の周知と保護意識の醸成に努めている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	赤井谷地は貴重な歴史資源であることから、乾燥化の防止や植生回復など適正な管理に努めるとともに、後世へ継承していくため、赤井谷地の文化財的価値の周知と保護意識醸成のための取組が必要である。 水環境・植生調査や指導会議の継続等により、谷地の保全に努める。観察会の実施やホームページ等の活用を通して、赤井谷地についての理解促進と保護意識の醸成を図る。				

7	事業名	御薬園管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	御薬園（名勝会津松平氏庭園）の保護・保存を図るとともに、広く市民や観光客に公開するために、施設の管理運営を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	19,214	18,689
			所要一般財源	19,214	18,689
概算人件費			364	546	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成18年度より、一般財団法人会津若松観光ビューローが指定管理者となり運営している。 令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で入場者が大幅に減少したが、令和4年度以降は入場者数及び収入の回復が見られた。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	本市の貴重な文化財として適正な保護・保存に努めながら、広く市民や観光客に公開するなど、その利活用を図っていく必要がある。 指定管理者制度の導入によりサービス向上と事業の効率化を図っており、引き続き指定管理者による管理運営を行うとともに、今後策定予定の保存活用計画に沿った文化財庭園の維持管理を行う。また、指定管理者と連携し、適切な施設運営と観光施設としての魅力向上を通して、来園者増加に努めていく。				
8	事業名	文化財保存活用地域計画推進事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市が目指す目標や取り組む具体的な内容を記載した文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プランとなる、「文化財保存活用地域計画」に基づく施策等の進行管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	140	140
			所要一般財源	140	140
概算人件費			152	152	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度から計画策定を行い、令和4年度に文化庁の認定を受けた後は、庁内連絡調整会議や地域計画協議会の開催による情報共有や、意見交換会やワークショップの開催による歴史資源の把握と地域の意識醸成を図ってきた。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	少子高齢化や社会状況の変化に伴い、本市の歴史文化の象徴である文化財を含む歴史資源の消滅や散逸の可能性が高まっている。 本計画に基づき、意見交換会やワークショップの開催により、地域の歴史資源の把握に努めるとともに、庁内や地域、関係団体等と協力して計画的に本市の文化財を保護・活用していく。				
9	事業名	文化財整備事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	文化財を次世代に継承するために、指定文化財や埋蔵文化財などについて、特性や環境・状況に応じた保護・維持管理・環境整備等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	13,366	19,311
			所要一般財源	3,440	14,666
概算人件費			728	728	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	指定文化財等において、支障木伐採や除草・清掃などの維持管理、老朽化した文化財説明板や敷地内の塀などの改修、撤去を実施し文化財の保護を図るとともに、市民がより文化財を活用しやすい環境を整えてきた。 埋蔵文化財保護のため、開発に伴う試掘調査を実施している。 「文化財だより」の発行や出前講座を実施し、市民の文化財に対する保護意識の高揚を図った。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	指定文化財等の維持管理・環境整備については、経年や社会状況の変化により、施設の毀損や支障木の増加、管理体制などに課題が生じていることから、地域の関係者等との協議しながら、計画的に適切な維持管理・環境整備を行っていく。 埋蔵文化財試掘調査については、依頼者と協議し、適切な調査による埋蔵文化財の保護を図る。老朽化対応や保存活用のため、山鹿素行生誕の地や高瀬の大木などの環境整備を進める。				

10	事業名	日新館天文台跡整備事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市指定史跡「天文台跡」の保存を図るとともに、市民や観光客が学習できる場となるよう周辺の整備・活用を進める。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	30,000	75
			所要一般財源	15,000	75
概算人件費			364	364	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	天文台跡の清掃等維持管理や隣接する土地の取得に向け所有者との協議を行うとともに、まなべこ歴史文化講座や天文学者による文化講演会を通じ、市民へ天文台跡の歴史や価値の周知に努めた。 令和5年度に取得した南側隣地について、令和6年度は駐車場整備、案内板や休憩スペースの設置、ポケットパーク等の整備を行う。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	指定史跡天文台跡は、現存する日新館唯一の遺構であり、日本唯一の天文台跡で日本天文遺産に登録されているため、保存・継承していく必要がある。 史跡の保存を第一とし、隣接地の購入等により、史跡を良好な形で保護・保存する。学習や観光の素材として活用するため、児童生徒、観光客、地域住民等が史跡に触れる場として、周辺の歴史探訪の回遊性向上に向けた取組を検討していく。				
11	事業名	文化財調査事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民文化の向上に資するため、市にとって重要な文化財を市指定とすることで、保存・活用に必要な措置を講じる。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	140	140
			所要一般財源	140	140
概算人件費			152	152	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	指定文化財や指定候補となる文化財等の調査を行い、文化財の保存・活用に關する事案を、考古学や民俗学など各分野の専門家による文化財保護審議会へ諮問し、文化財の保存と活用を図ってきた。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	貴重な文化財を守り、後世に継承していくために、文化財の調査を行い、所有者の権利を守りながら、市指定などにより文化財の保存を推進するとともに、文化財の保護・保存について広く理解を得るための取組が必要である。 文化財保護審議会委員は、市内の文化財を専門的見地から調査し、指定・保存に値する文化財であるかを審議しており、文化財の保存に大きく寄与しているため、今後も継続的に活動していく。				
12	事業名	指定文化財保存整備補助事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	民間所有の指定文化財の保存等に係る国・県補助対象事業などに対し、「会津若松市文化財保存事業費補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付することで、文化財の管理・修理・保存等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	803	6,041
			所要一般財源	803	6,041
概算人件費			273	273	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	国指定重要文化財建造物（延命寺地藏堂、八葉寺阿弥陀堂、旧滝沢本陣横山家住宅、旧正宗寺三匠堂）の保存管理事業に対し、補助金を毎年交付するとともに、国・県・市指定文化財の修理事業に対しても、補助金を交付し、文化財の適切な保存整備に寄与した。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	民間所有の指定重要文化財建造物の管理や修理事業に対し、補助金を交付することにより、文化財が良好な状態で保存される一助となっているが、申請額と比較して国・県補助金が減額されている事例がある。 引き続き、国県等と連携し、適切な保存につながるよう、補助金を要望していくとともに、文化財所有者と情報共有を図りながら、会津若松市文化財保存事業費補助交付要綱に基づき、予算の範囲内で補助金を交付していく。				

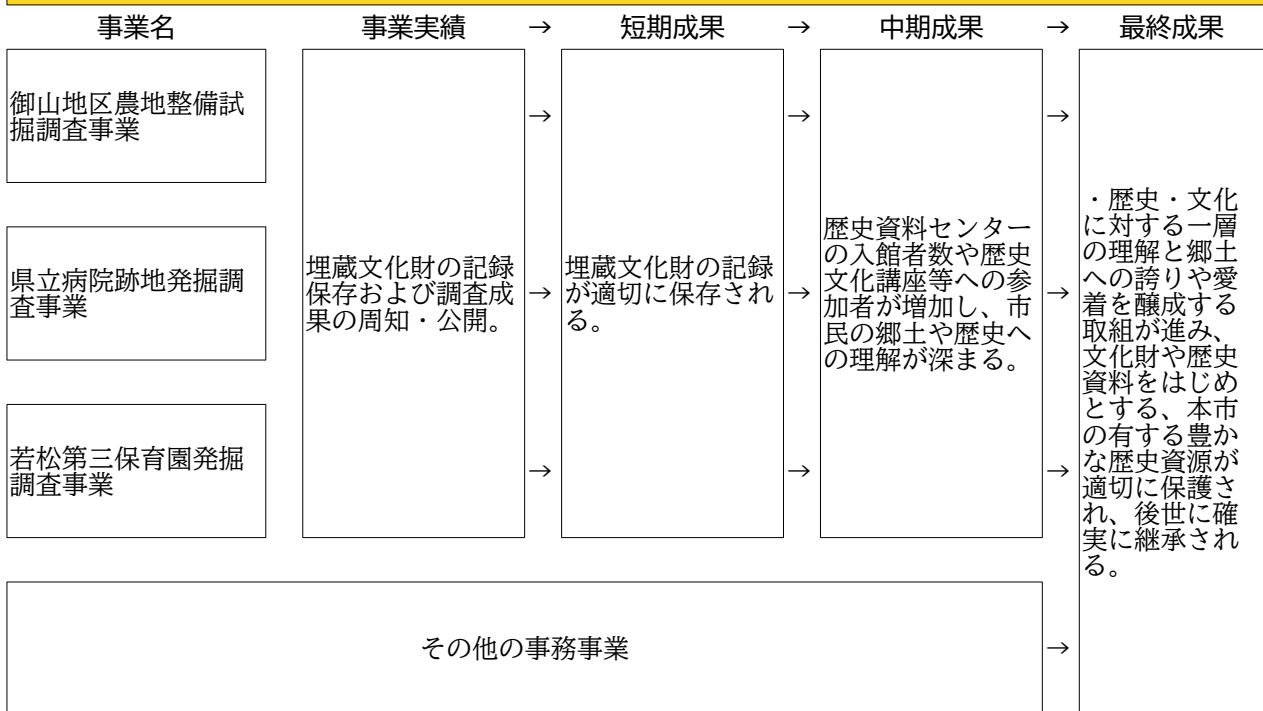
13	事業名	神指城跡保存検討会事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	神指城跡の今後の保存や整備と活用の方法などを検討するため、有識者による検討会を設置する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	154	154
			所要一般財源	154	154
概算人件費			304	304	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成29年度から6回の検討会を開催し、今後の保存や整備、活用の方法、地元説明会の開催における意見の検討を行っている。令和3年度からは、計4回の地元説明会を開催し、地元住民の意見や考え方を聴取した。 令和5年度は地区説明会に替え、神指城の歴史的価値と魅力を解説するチラシを作成し、地区への周知を行うとともに、令和6年度は、文化庁調査官からの指導を受け、城跡周辺の地区に対象を絞って意見を聴取し、その意見を検討会で諮った。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	これまで神指地区全体の地元説明会を開催して地元住民の意見や考え方を聴取したが、参加者が少数にとどまったことから、より多くの意見聴取をし、その意見を検討会で諮りながら、引き続き指定や保存方法について検討していく。				
14	事業名	埋蔵文化財管理事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	発掘調査で出土した遺物や、民俗資料などの文化財を適切に保存・活用するための管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	575	576
			所要一般財源	575	576
概算人件費			228	228	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	現在、河東文化財管理室（旧河東第一幼稚園）に民俗品、追手町埋蔵文化財収蔵庫に市内の埋蔵文化財からの出土品を収蔵および管理している。出土品は出土した遺跡ごとに適正に管理され、遺物見学会や歴史資料センターでの展示などに活用されている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	埋蔵文化財出土品と民俗品をそれぞれの施設に集約して収蔵し、管理・活用しているが、今後もほ場整備や開発に伴う発掘調査が続く見込みであり、出土品等の文化財が増加することが予想されるため新たな収蔵施設の確保が必要であることから、新たな収蔵施設についての検討を行う。				
15	事業名	庁舎整備発掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	終了
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	738	0
			所要一般財源	0	0
概算人件費			910	0	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和4年度から令和5年度にかけて、本庁舎敷地内及び謹教小学校跡地東側雁木部分の発掘調査を実施し、報告書を刊行した。 令和6年度は駐輪場等の整備工事範囲において、事前の発掘調査を実施し、記録として保存する。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	令和6年度事業終了				

16	事業名	城前団地発掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	31,768	4,100
			所要一般財源	10,490	2,050
概算人件費			7,275	2,122	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成25年度に第1工区1,300㎡、平成28年度に第2工区960㎡、平成30年度に第3工区935㎡の発掘調査を実施し、記録として保存した。令和元年度は第4、第5工区1,790㎡の調査を実施した。令和6年度は、若松第二中学校庭東隣1,235㎡の発掘調査を実施する。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	発掘調査の実施にあたっては、城前団地整備計画のスケジュールを踏まえながら、適切に対応して行く必要がある。 調査が円滑に進むよう、引き続き関係機関等と協議を行いながら、工事着手前に発掘調査を実施し、記録として保存する。				
17	事業名	都市計画道路藤室鍛冶屋敷線発掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	29,307	0
			所要一般財源	16,807	0
概算人件費			5,608	57	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	これまで、今回の調査対象である本町工区の東側で、平成27年度に636㎡、平成29年度に620㎡、平成30年度に80㎡の発掘調査を実施し、報告書を作成した。令和5年度は、本町工区のうち約590㎡、令和6年度は工区の残り約560㎡で発掘調査を行い、令和6年度末に令和5年度の調査と合わせて報告書を刊行する。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	道路工事のスケジュールとの兼ね合いを調整しながら調査を実施する必要がある。 調査が円滑に進むよう、引き続き関係機関等と協議を行いながら、工事着手前に発掘調査を実施し、記録として保存する。				
18	事業名	都市計画道路藤室鍛冶屋敷線（県道）発掘調査事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財保護のため、開発により現状で保存を図ることができない埋蔵文化財の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	0	45,526
			所要一般財源	0	0
概算人件費			0	8,488	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和5年度に、対象面積約1,200㎡のうち令和7年度調査予定地の試掘調査も含め約500㎡の発掘調査を実施した。試掘調査では若松城郭内武家屋敷跡の西端にあたる外濠跡などを確認しており、令和7年度に調査を実施し事業終了となる予定。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	今後も調査が円滑に進むよう、引き続き関係機関等と協議を行いながら、工事着手前に発掘調査を実施し、記録として保存する。				

19	事業名	平沢地区農地整備試掘調査事業		法定／自主	法定
	担当部・課	教育委員会文化課		次年度方針	終了
	概要 (目的と内容)	埋蔵文化財を保護・保存するため、事前に試掘調査を実施することで、埋蔵文化財の具体的な内容を把握し、開発者と保存協議を行うための資料を作成する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	59,649	0
			所要一般財源	29,814	0
			概算人件費	5,242	0
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和3年度に実施した現地踏査の結果をもとに、令和5年度に調査対象となる8遺跡のうち4遺跡の試掘調査を実施し、その成果を調査報告書として発行した。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	令和6年度事業終了			

施策のロジックモデル（政策の設計図）

施策3 歴史資源・伝統文化の保存・継承



成果を示す根拠の推移（中期成果）

事業名	項目	R4	R5	R6	R7	R8
御山地区農地整備試掘調査事業	歴史資料センター入館者数（人）	3,685	4,164			
県立病院跡地発掘調査事業	歴史資料センター入館者数（人）	3,685	4,164			
若松第三保育園発掘調査事業	歴史資料センター入館者数（人）	3,685	4,164			